

長岡京市環境の都づくり会議10周年記念誌

10年のあゆみ



“環境の都”長岡京PRキャラクター
市の鳥・メジロの「ミヤコちゃん」

「環境の都」を目指して

— 今ならまだ温度計の上昇を止められる！ —

我が街から“さわやかな環境保全取り組みの輪”を世界に拡げて行こう！

長岡京市環境の都づくり会議 代表 江川宗治



長岡京市環境の都づくり会議は、平成13年3月に『長岡京市環境基本計画』が策定されたのを受け、翌平成14年1月20日に結成されて以来、大勢の市民の皆様・関係団体・賛同者の方々に支えられ、本年度で設立10周年を迎えることができましたことを感謝いたしております。

発足当初は、メンバー各自環境に対する強い思いはあっても、考え方も様々であり、会としての進め方も試行錯誤があって、会員数も少ない中、入退会が多いなど苦闘の期間がありました。紆余曲折がありましたが、多数の市民、関係団体各位に多方面からご協力・ご支援を頂戴して、活動を継続でき、少しずつではありますが前進していると感じています。

最近の活動の特徴は、以前は環境の都づくり会議単独の取り組みが殆どでしたが、市内外の環境団体、関係機関、地元商店街や企業、教育機関等との多方面な連携・協働取り組みが随分増えて、その分、活動の拡がりや深みを感じられるようになってきたことです。

これまで10年間の主な活動を振り返ってみますと、（平成24年1月20日現在）

参照ページ

森林ボランティア活動（里山再生市民フォーラムに参画）：毎月2回定例開催	5
間伐材等の利用・木工教室、自然調査	
ビオトープ作りと学習(小学校「すくすく教室」)、小泉川水質調査、竹炭作り	6
竹林再生活動（放置竹林整備等）・委託竹林数 8箇所、総面積 14,000㎡ 強	7, 8
花を咲かそう：西山体育館2階庭園、中央公民館駐車場のグリーンサポーター	9
エコ生活啓発普及(省エネ診断・相談会、フードマイレージ)、小学校環境学習	10
市民共同おひさま発電所設置運動：	
●『ゆりかご保育園』“サンさん1号”(5kW)設置（平成16年3月25日運転開始）	
●『海印寺保育園』“サンさん2号”(10kW)設置（平成20年1月19日運転開始）	
市民環境フォーラム	：延べ15回開催、約1,100人参加
環境教育ミーティング	：延べ59回開催、約1,000人参加
環境の都ニュース	：隔月発行 61号迄発行済、臨時号2回の計63回発行

各種地元行事に参画して環境意識啓発

- 「京都環境フェスティバル」（京都府主催）出展・平成16年～平成23年
- 「ガラシャ祭」、「乙訓リサイクルフェア」、「水辺フェスティバル」参加
- 長岡京市内小学校校区祭り参加・例年幾つかの校区行事で環境啓発活動

☆協働取り組み

- 西山ファミリー環境探検隊・・・平成19年～ 年間5回の開催
- アゼリアエコクール大作戦・・・平成21年～ アゼリア通り商店街との共催
- 長岡京竹あそび・・・平成21年～ 去年は35団体の参加あり
- 自然と人間の共存環・・・去年は“蝶の写真展”として開催

昨年の東日本大震災等でも気付かされたように、自然災害は別として地球環境を悪化させる要因は我々人間の生き様にあります。現代に生きる我々は、美しい地球を豊かな自然環境を維持しながら後世に引き継いでいく責任があることをしっかり自覚し、まずは身近な出来ることから、地道に取組を実践し、それらを継続発展させて行こうではありませんか。

環境の都づくり 10周年を祝して



長岡京市長 小 田 豊

長岡京市環境の都づくり会議が、発足から10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また、今日までご活躍を続けてこられましたのも、会員様をはじめ関係者各位のご努力の賜物であると、敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、本市の環境政策の根幹ともなります長岡京市環境基本計画は、平成13年に策定されましたが、環境の都づくり会議の前身でもある市民環境会議の皆様方をはじめ、多くの市民の方々のご意見を頂きながら策定することができました。この計画では、7つの基本理念に基づく“環境の都”づくりの方向性を示しており、長岡京市環境の都づくり会議による市民主導で推進していただいているところでございます。

また、貴団体では、現在7つのプロジェクトによる活動が積極的に行われており、市内の小学校や保育所などにおいて、ビオトープの整備やおひさま発電所の設置、また本市の約4割を占める西山の森林整備、放置竹林の整備にもご尽力をいただいております。更には、環境講演会や市民環境フォーラムを開催し、市民に対し広く環境問題を提起されるなど、様々な形で活動を続けてこられましたことに、心より感謝を申し上げます。

環境基本計画の策定から10年が経過しました。社会情勢が刻々と変化する中、環境問題は深刻化してきております。このような時代の変化に対応し、未来の子どもたちが心の安らぎと豊かさを得られる“環境の都”の実現を目指すために、本市では平成21年4月に「“環境の都”長岡京市環境都市宣言」を行い、平成25年には環境基本計画の改訂も予定いたしております。

環境の都づくり会議の皆さんとは、パートナーシップのもとで、環境基本計画に掲げる活動を推し進め、“環境の都”の実現を目指したまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも本市の環境行政にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、記念すべき年を迎えられましたことを契機といたしまして、長岡京市環境の都づくり会議のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

環境の都づくり会議 10年の歩み

(2012.1.20現在) *印は世界の動き

平成	環境の都づくり会議の歩み	内外の環境トピックス
11年	『長岡京市環境基本計画』立案プロジェクト発足、「街づくり」「自然」「循環」「N.W.」四部会	ダイオキシン特別措置法制定
13年	3月『長岡京市環境基本計画』策定完了:8月「長岡京市環境の都づくり会議」会則	環境庁が環境省に改編
14年 (2002)	《1月20日「長岡京市環境の都づくり会議」正式発足》 第1回「長岡京市民環境フォーラム」(以下「市民環境フォーラム」と称す)開催 …38名出席「環境首都への道のり」環境市民 杵本氏、ほか 3/21 第2回、6/15 第3回、10/26 第4回と年4回の市民環境フォーラム開催	京都議定書批准(我国) 2/27 長岡京市「ISO14001」 の認証取得
15年 (2003)	3/29 第5回市民環境フォーラム“市内の生物と自然を考える” 4月「市民共同おひさま発電所」設置活動スタート 10/26 第6回長岡京市民環境フォーラム“地球温暖化防止に向けて”	* EU、有害物質使用規制指令[RoHS指令]・廃電気電子機器指令[WEEE指令]採択
16年 (2004)	3/25 ゆりかご保育園おひさま発電所“サンさん1号”完成、点灯式 5/16 第7回「市民環境フォーラム」手作り寸劇“森をつくろう” 12/11.12「京都環境フェスティバル」に出展	景観法制定 外来生物法制定 * ISO14001/2004発行
17年 (2005)	2/16 京都議定書発効記念行事(パレード、国際会議場のフォーラム)に参加 5/7 第8回「市民環境フォーラム」、11/27 第9回「市民環境フォーラム」開催 “小泉川ビオトープ”建設活動、西山森林整備推進協議会発足	* 京都議定書発効(2/16) 愛・地球博開催(3/25～9/25) テーマ“自然の叡智”
18年 (2006)	11/18 第10回「市民環境フォーラム」“天ぶら油で車を走らそう” 12/9.10「京都環境フェスティバル」に出展	* EUでのRoHS(ローズ)指令施行 容器包装リサイクル法改正
19年 (2007)	市内環境諸団体等との協働取り組みで「西山ファミリー環境探検隊」発足 4月「市民共同おひさま発電所」2号機設置活動スタート 11/18 第11回「市民環境フォーラム」“小さなことからコツコツと!” バイオ燃料勉強会:もみじ祭り宝恵駕籠製作:小畑川ビオトープ活動	海洋基本法制定・施行 * EUでのREACH規制発効
20年 (2008)	1/19 海印寺保育園おひさま発電所“サンさん2号”完成、点灯式 「西山ファミリー環境探検隊」開催…今年度より事務局は市民活動サポートCに 11/29 第12回「市民環境フォーラム」開催…中央公民館 小中校生の環境取り組み作品の発表を中心とした“子ども環境フェスティバル”	生物多様性基本法制定・施行 * 京都議定書第一約束期間 (2008～2012年)開始
21年 (2009)	長岡京市が『環境都市宣言』を行った:アゼリアエコクール大作戦実施 12/12宣言記念“環境フェア”/第13回「市民環境フォーラム」開催 竹林再生活動(河合竹林ほか6ヶ所で実施、延べ参加人数339人・日) 花を咲かそうPJT 西山体育館2階庭園整備、第1回長岡京竹あそび参加	* 気候変動枠組条約第15回 締約国会議で世界の気温上昇を 2℃以内に抑えるという数値 目標等が正式に採択された
22年 (2010)	3/22 第3回環境講演会『“環境づくり”としての“まちづくり”』乾 教授 6/5 第4回環境講演会『エコミュージアムによる地域づくり』三橋 教授 7/24 環境教育ミーティング50回記念講演『ゴミック・廃貴物』高月 教授 11/28 第14回「市民環境フォーラム/子ども環境フェスティバル」開催 カシノナガキクイムシの被害調査・対策、環境省植生等里地調査に参加 すくすく教室:竹の子掘り体験、竹炭焼、小泉川水質調査	* 生物多様性条約第10回締約 国会議(名古屋)で、国連は2010 年を「国際生物多様性年」と制定 国民運動「チーム・マイナス6%」 を「チャレンジ25」に改定
23年 (2011)	7つのプロジェクト活動推進、西山F環境探検隊、アゼリアエコクール大作戦 6/11 第5回環境講演会『地球温暖化問題と森林、里山保全、…』田中 教授 9/21～25 自然と人間の共存環/蝶の写真展 共同開催 12/3 第15回「市民環境フォーラム/子ども環境フェスティバル」開催 京都環境フェスティバル、長岡京竹あそび、乙訓リサイクルフェア、ガラシャ祭、等出展	3月11日『東日本大震災』発生

環境の都づくり会議 10年のあゆみ



第1回市民環境フォーラム〔2002〕



第5回市民環境フォーラム〔2003〕



サンさん1号点灯式〔2004〕



小泉川ピオトープ〔2005〕



京都環境フェスティバル〔2006〕



第1回西山ファミリー環境探検隊〔2007〕



もみじ祭り宝恵駕籠製作〔2007〕



サンさん2号点灯式〔2008〕



子ども環境フェスティバル〔2008〕



アゼリアエコクル大作戦〔2009〕



第1回長岡京竹あそび〔2009〕



環境教育50回記念講演〔2010〕



里山再生森林ボランティア活動〔2010〕



竹林再生活動〔2011〕



花を咲かそう活動〔2011〕

心とからだの健康をサポートします。



シャトルバスを
運行しております。

どうぞご利用ください。



財団法人 長岡記念財団

NAGAOKA HEALTHCARE CENTER
長岡ヘルスケアセンター
●精神科 ●神経科 ●内科 ●歯科 (長岡病院)

〒617-0843 長岡京市友岡4丁目18番1号
TEL(075)951-9201 <代>

老人保健施設
アゼリアガーデン

〒617-0843 長岡京市友岡4丁目114番地
TEL(075)957-1112 <代>

市民参加の里山再生プロジェクト10年間

(2001年度～2010年度)の活動記録

リーダー 加藤 克巳

市民参加の里山再生プロジェクトは、2001年(平成13)5月より、活動を開始しました。平成15年度からは里山再生に関心を持つ一般市民と、各種団体が一緒になった長岡京市里山再生市民フォーラムに参画する形で活動を行っています。

活動地は、当初より奥海印寺池ノ尾の長岡京市の市有地を中心に行っています。

10年間の活動日数は1,350日、延べ参加人員は16,434人となっています。

里山を手入れすることにより、水、土、空気を生き生きさせ、生物の多様性を維持することなどを目的に「四季を感じられる山」「子供や市民が魅力を体験できる山」を目標に、現在約30名が活動を継続中です。

1) 森林ボランティア

間伐、下草刈り、植樹、まつたけ林整備、観察道整備、遊歩道整備、など、当プロジェクトの主たる活動です。2008年(平成20)度より、竹林整備も行っています。



2) 間伐材等の利用

薪づくり、しいたけづくり、子供工作教室、クリスマスリースづくり、大人工作教室等を行っています。

3) 自然調査

間伐を始める前に植生調査を実施、切る木、残す木を決めています。自然観察会、木の名札かけなどを適宜実施しています。

2008年(平成20)度より、環境省の里地調査(5年間に参加、実施しています。

ササユリの実生からの養殖活動も行っています。



4) 講演会の開催

2004年(平成16)度より毎年、里山講演会を実施、野間直彦先生、小川真先生、徳地直子先生、黒田慶子先生に現地指導やご講演を受けました。

5) 西山森林整備推進協議会の発足と参画

西山の里山機能を再生させるため、産、官、学、市民からなる西山森林整備推進協議会が2005年(平成17)6月に発足しました。

里山再生プロジェクトは当初より積極的に参画し、森林ボランティア行事、西山ファミリー環境探検隊などで協働を継続しています。

西山森林整備推進協議会

「つなげたい みどりの西山 未来の子らへ」 since 2005

長岡京市の西域に位置する「西山」。その豊かな森林環境の保全や育成を推進するために、森林所有者、地域住民、企業、NPO、大学、行政等が連携して取り組んでいます。あなたも森林ボランティア活動に参加しませんか。





小畑川ビオトープ・春▲

ビオトープJT

リーダー 小根田 勝信



竹の子掘り体験・春▲



ムラタビオトープでメダカ、ザリガニ捕り・初夏▲

環境の作業場で竹のプランタ作り・冬▼



ビオトープとは、「生き物の居る場所」の合成語です。私達は子供達を自然の中に連れ出し、自然環境の大切さ、野生生物が安心して住め、生態系の保全や生きる物の「命の大切さ」を自然を通して学び、そして人として優しさを育むため、環境教育の場をビオトープを通して活動しています。



◀ 暑い太陽の下で汗をいっぱいかきました、でもやっぱり外が一番良いです。・真夏

みずみずしくナチュラルに
からだに優しいお菓子の店
京都 長岡京
みずみずは
北川

長岡京市うぐいす台1の3 075(954)0400

店では西山の地下水を
ふんだんに使わせていただいて
「生麩」や「小豆漉し餡」を
つくります。
良い水はいいお菓子づくりの
必須条件です。
自然環境に恵まれた「長岡京」
だから、出来ることです。
精進料理由来の、
植物性蛋白質を多く含む、
低カロリーの、みずみずしい、
すばらしい和菓子の現代派。
美しい笹の葉つつみ。



京の風雅
なまふ
生麩まんじゅう

竹林再生PJT

リーダー 渡辺 節郎



放置竹林



竹垣の完成

活動のあゆみ

- 発足 ビオトープPJT内の部会として平成17年3月に竹林再生部会誕生
- 独立 平成23年4月より竹林再生PJTとして分離独立
- 会員 登録会員23名（ビオトープ、花を咲かそうPJTの兼務者を含む）
- 活動 放置竹林の整備、活動日時は毎月第1、第3月曜日 9時～15時
活動場所は下記7ヶ所の竹林
- 目的 放置竹林の再生で西山の生態系や景観を守る等、環境保全に貢献する。
整備の基本は、古竹の伐採と新竹の間伐管理により竹藪の拡大を防止する事です。
(間引いた筍は汗の報酬として会員で分配します)

放置竹林の整備で最大の課題は古竹の処分です。その場で燃やすことが手っ取り早くて容易なのですが火災や公害の危険があり当ボランティアとしてはこのリスクを避けたいのです。そこで新しい処分方法として昨年より竹を粉砕するチップperを導入して竹チップを作り短期に腐らせることに着目し、腐らせたものを土壌改良材として使うことを試行しています。これは竹の利活用の有効手段の一つであり西山環境保全に大きく寄与するものと考えます。



チップperの導入

委託竹林の整備状況

合計14,643㎡ (約14反)

	管理竹林	委託開始日	委託期間	備考	面積(㎡)
1	光明寺竹林	平成17年3月	なし		990
2	長法寺竹林	平成17年5月	なし		2475
3	河合竹林	平成19年3月	3年	更新済	1485
4	長谷川竹林	平成20年7月	3年	委託終了	1004
5	長岡公園竹林	平成20年8月	3年	更新済	3250
6	金ヶ原竹林	平成21年11月	5年		4395
7	西山体育館竹林	平成22年11月	3年		330
8	粟生、林竹林	平成23年6月	3年		714



竹チップの散布
長岡公園の竹林にて



この街で創業以来41年

安心・安全をモットーの地元業者



信頼づくりで地域と暮らしを支援

有限会社 長岡美装社

(廃棄物収集運搬業)

☎ 0120-08-7903

TEL 075-953-7903 FAX 075-953-8860

〒617-0823 長岡京市長岡1丁目34番25号

環境ボランティアとして、家庭から出る
使用済みてんぷら油の回収をしています。

長岡公園部

その他の活動として竹炭、竹ポット、七夕、竹灯り用の竹筒や竹材の提供、また、多くの竹に関わる諸行事にも参加しています。特に「長岡京竹あそび」ではコーディネータ、現場推進両面に亘り中心的に活動しています。

さらに小学生の放課後授業「すくすく教室」でも子供達に筍掘の体験をしてもらい、親子で楽しみながら自然環境の勉強をしています。



すくすく教室風景
小学生のタケノコ掘体験

受託管理している長岡公園での早春のタケノコ掘り体験教室は大変人気があります。また、竹の地下茎からタケノコが芽を出し成長し3年後に親竹になるまでの過程等を勉強します。



栗生の放置竹林で整備を開始したところです。

古竹や倒木で足の踏み場もなく真っ暗な藪の中での作業です。声を掛け合いながら伐採除去をしてようやく間伐ができるようになりました。



長岡京竹あそび

With the Community

長岡京市女性の会

私たちは1972年の設立以来、女性の地位向上と社会貢献を目指し、今日まで地域に向けた活動を行っています。これからは地域との絆を大切に、男女共同参画、環境、子育て支援、ボランティア活動など、地域に元気を発信します。

女性の会の花「ひまわり」
“ふれあいの黄色いハンカチ運動”を20年間継続しています。

住みよい“環境”の地域社会を考える

長岡京市生活学校

(連絡先)長岡京市生涯学習課:055-9534

—「長岡京竹あそび」(2011.10.8.)にて—



24名のメンバーが集って西山公園体育館と中央公民館の植栽活動をしています。単に花苗を植えるだけでなく、花の種子や株を増やして経費節減と省力化を実現しました。



炎天下の水遣り



秋の養生



今年はJR長岡京駅前通りに、ナデシコ、パンジーを竹筒に植え込み飾りました。このように例年いろいろなイベントに花の竹ポットで協力しています。

恒例となった正月飾り作りに磨きをかけて教室を開いたり種や苗を提供したり、もっと花の輪を広げたいと思っています。



一般建築土木工事 設計施工
管 工 事 設計施工
柳谷楊谷寺御用達

株式会社 藤井 株式会社 フジイテック

〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺火ノ尾31
TEL 075-956-7066
FAX 075-956-5875

エコチームの活動

リーダー 田原 誠一郎

はじめに

「エコチーム」は、太陽光発電や風力発電など自然エネルギーを利用した発電や、省エネやごみの削減など地球温暖化防止に関連する啓蒙活動と実践を行っています。

1 児童・幼児を対象とした活動

① 環境学習

小学校高学年の総合学習の授業で、①環境学習 ②環境関連の工作や実験 ③環境にやさしい発電体験



(風力発電、ソーラー発電、燃料電池 等)を内容とした環境学習を、市内7つの小学校で延べ約800人の児童におこないました。

② 環境科学あそび

長岡京市で活発に行われています。「放課後子ども教室-すくすく教室」において、市内の全小学校で、環境科学あそび、リサイクル工作などを行いました。子供たちはいつも目を輝かせて楽しんでいます。

③ 保育園への太陽光発電設備の設置

「サンさんプロジェクト」としてゆりかご保育園に平成16年に1号発電所を、海印寺保育園に2号発電所を平成20年に設置し順調に発電しています。

2 市民を対象とした活動

① 省エネ診断会・省エネ相談会の推進

市役所と協働で、「省エネ相談会」を開催し、広く一般市民の方々に省エネに関心を持っていただくとともに、電気を大切に使う方法などエコ生活のアイデアを提供しています。

② イベントへの参加

パルスプラザで開催されている「京都環境フ

ェスティバル」では、自作のソーラーカーづくりなど新しい企画で毎年参加しています。

その他、乙訓リサイクルフェア、長岡京ガラシャ祭等に

参加し、毎年300人以上の市民の方に、環境に優しい生活をする事の大切さをアピールしています。



③ 地域力再生プロジェクト支援事業交付金の支援について

2007年度より地域力再生プロジェクト支援事業の支援を受け、活動の大きな支えとなりました。

終わりに

最近の5年間でエコチームの活動は大きく拡大し、また内容も充実しました。その結果、多くの市民の方々に環境問題に関心を持っていただくことができました。

これからもエコチームの持つ特技を活用し、市民の方々と一緒に地球温暖化防止に向けた活動を進めたいと計画しています。

村上 薫様の思い出

長年にわたりエコチームの中核メンバーとして活躍されてきました村上様が、本年1月2日心不全で急死と聞き、メンバーに大変な衝撃を与えました(享年77歳)。自然エネルギー普及の重要性に対する信念は誰にも負けない凄まじいものがあり、自宅には早くからソーラーパネルを付け、マイカーにはデモンストレーション用の自転車発電装置と模型の電車運転装置一式が積み込まれていました。長岡京市はもちろん、府内でも有名な自転車発電おじさんを失ったことは当会議にとっても大変な痛手です。皆で村上さんの遺志を継いで行きたいと思います。

平井鍼灸整骨院

京都府長岡京市長岡2丁目1-7

ご予約・お問合せ (075) 951-5703

私達は日本で一番元気な治療所を目指しています

*整骨: 骨折、脱臼、打撲、捻挫などの外傷、他

*はり・灸: 各種急性・慢性疾患、肩こり、腰痛

*カイロプラクティック

長岡京市生活会議

あしたのまちづくりをする全国組織で
身近なテーマについて話し合う気楽な会です。

活動例

1 EM農園で野菜づくり

2 「長岡京竹あそび」でエコローソクづくりに参加

3 「学校ヒオトーフでホタルを育てる会」に参加

会員募集中

(世話役) 渡辺節郎

090-7755-9238

担当 山本 雅夫

2002年1月の1号から2011年11月の60号まで、ほぼ隔月発行してまいりました。現在のニュースはA4サイズ4ページ構成で、表紙に巻頭言と写真を配して、2～4ページは各プロジェクトの活動報告や今後の活動予定、その他トピックスや関係イベント情報等を記載しています。

10周年記念誌発行に際して、ニュースの10年を巻頭言に絞って述べてみたいと思います。

1. 12号で初めて「環境改善貢献への呼びかけ」があり、13号から署名入りの「巻頭言」掲載が始まり現在に引き継がれています。
2. 内容は「温暖化防止や資源・エネルギーの消費節約等を身近な出来ることから取組もう、意識しよう」と結ぶものが殆どで、書き出しは季節を感じさせる身近な花・鳥・魚のことや小泉川・小畑川・西山・竹林などで、長岡京への愛着を感じます。ちなみに竹の4回以外生物は一回ずつの登場です。
3. 巻頭言は上手く力の抜けた文章が多く、今でも新鮮でなるほどと思わず相槌を打つようなところがあります。もし、お読みになりたいと思われる方は10周年記念誌資料編DVDをご覧ください。個人的ですが楽しく読めてうんちくも有る巻頭文を以下に掲載します。2005年5月21号からです。



「おはよう！なんだかもう夏みたいねエ」
 「だからサ～ 毎年毎年花支度を急がされて大変だわ。これって地球にシーオーツが増えすぎて暑くなってるんでしょ」
 「あたしなんかそれを採りすぎちゃってさ、こんなになったじゃん。責任とってよ！」
 「アンタのは中年太りっつーの」
 「あやちゃん最近めっきり綺麗になったわね。今年はアマチュアカメラマンにモテモテよ」
 「あら しょうぶサンこそ餅の柄がすてきだわ」
 「私たち、ここでファッションショーやっっているだけじゃないのよネエ～」
 「土の中の名前も知らない虫さんたちと一緒に水や土や空気をきれいにしているのよ～」
 「そうよ小鳥、魚、ミミズ、バクテリアさん達もみんなが仲間して、がんばってんだから」
 「いろんなゴミがこの池に流れてきちゃてるの。ぜ～んぶきれいにしよあげてヨ フウツ」
 「プラスチックや空き缶には超ムカツクわ！」

「ねえねえ、こんど小泉川のほとりにビオトープができたそうよ。水草の周りには蝶やトンボにオタマジャクシが自然に集まる場所なんだって。みんなで見学にいきましょうネ」

「早くいきたいわ そこでタッキーみたいな男性を見つけ・・・やがて押しかけ女房」

「ダメダメ！ そこは自然の調和が取れた食物連鎖が行われる聖域なの。そっとしてあげて」

「そうなんだ 愛とは見守る事なのか」

ビオトープロケ取材担当 奥西 (2005年5月 21号 巻頭文)



〒617-0833 京都府長岡京市神足2丁目6-22
 TEL 075-954-2131 FAX 075-955-2933
 E-mail: intakami@mbox.kyoto-inet.or.jp



— オフィス環境を創造する —

株式会社 西文堂

〒617-0824 京都府長岡京市天神4丁目3-1
 TEL (075) 951-1121(代)
 FAX (075) 955-4767

長岡京市環境の都づくり会議会則

(名称)

第1条 この会は、長岡京市環境の都づくり会議という。

(事務局)

第2条 この会の事務を処理するため、事務局を長岡京市開田1丁目1番1号 長岡京市役所環境政策推進課内に置く。

(目的)

第3条 この会は、『つむぎ織りなす環境の都』を目指し、市民・事業者・行政など、あらゆる主体が参画しながら、持続可能な地域社会づくりを進めることを目的とする。

(活動)

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、長岡京市環境基本計画で提案する各プロジェクトをうけ、活動を推進する。

(会員)

第5条 この会の会員は、次の3種類とする。

- (1) 正会員 この会の目的に賛同して入会した個人。
- (2) 賛助会員 この会の目的に賛同して資金援助をする個人・団体。
- (3) 準会員 この会の目的に賛同して活動を実践する個人・団体。

(入会)

第6条 正会員として入会しようとするものは、入会届(別紙様式1)を提出し、月例会議で承認を得なければならない。

(会費)

第7条 正会員の会費は、年間1,000円とする。
2 賛助会員は、協賛金1口 年間1,000円からとし、何口でも資金援助ができるものとする。

(退会)

第8条 正会員は、退会届(別紙様式2)を提出し、任意に退会することができる。

2 正会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなす。

- (1) 本人が死亡したとき。
- (2) 継続して、2年以上会費を滞納したとき。
- (3) 1年以上連絡が取れず、活動の意思がないものと判断したとき。
- (4) 会員である団体の「長岡京市環境の都づくり会議」の会が消滅したとき。

(抛出金の不返還)

第9条 会員が納入した会費及びその他の抛出金はその理由を問わず、これを返還しない。

(役員)

第10条 この会に次の役員を置く。

- (1) 代表 1名
- (2) 副代表 若干名
- (3) 会計 1名
- (4) 監査 2名
- (5) 渉外 若干名
- (6) 広報 若干名

(役員を選出)

第11条 正会員の中から総会において選出する。

(役員の仕事)

第12条 代表は、この会を代表し、その業務を統括する。

2 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるとき又は代表が欠けたときは、その職務を代行する。

3 会計は、この会の会計業務を統括する。

4 監査は、この会の会計監査を行う。

5 渉外は、各種関係団体等との連絡・調整を行う。

6 広報は、この会の活動を広報する。

(役員の仕事)

第13条 役員の仕事は、原則2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員が欠けたときは、正会員のなかから補充する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

(総会)

第14条 総会は正会員をもって構成し、毎年1回開催する。

2 総会は、正会員の過半数以上の出席をもって成立する。ただし、委任状を含むこととする。

(審議事項)

第15条 総会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 会則の変更
- (2) 役員を選出又は解任
- (3) 事業計画及び収支予算
- (4) 事業報告及び収支決算
- (5) その他運営に関する重要事項

(議決)

第16条 総会に於ける審議事項は、出席者の過半数をもって議決する。(月例会議)

第17条 この会議は、役員、各プロジェクトのリーダー及びサブリーダーにより構成する。それ以外の者が参加する場合は、代表の承認を得なければならない。

2 この会議は、毎月1回定期的に開催し、必要に応じて臨時開催することができる。

3 この会議は、会員の入会の承認、総会議決範囲内の予算の執行、主催・共催・後援行事の決定などの業務を行う。

4 議決を要する場合は、総会の規定に準ずる。

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(経費)

第19条 本会の運営に要する経費は、会費、補助金、事業収入、協賛金、その他の収入をもって充てる。

(会則の変更)

第20条 会則の変更は、必要に応じて総会の議決により行うことができる。

附則

1 この会則は、平成13年8月20日から施行する。

2 この会則は、平成15年6月10日から施行する。

3 この会則は、平成16年7月13日から施行する。

4 この会則は、平成21年5月9日から施行する。

写真はかけがえのない記録。

そして言葉のいらぬメッセージです。

<http://www.yasuicamera.co.jp>



ヤスイカメラ

長岡京市今里 ☎(955)4450

●●● 役員体制 ●●●

役職名	氏名
代表	江川 宗治
副代表	西村 日出男
副代表	湯川 智子
会計	神山 忠
渉外	加藤 克巳
渉外	中田 利享
渉外	渡辺 節郎
渉外	田原 誠一郎
広報	山本 雅夫
監査	木村 禎志
監査	小根田 勝信

◆プロジェクトリーダー

プロジェクト名	氏名
里山再生	加藤 克巳
環境教育	西村 日出男
エコチーム	田原 誠一郎
〃 サブ	中田 利享
〃 サブ	石田 次郎
ビオトープ	小根田 勝信
〃 サブ	奥西 弘武
〃 サブ	神山 忠
花を咲かそう	湯川 智子
まち歩き	柳沼 宣裕
竹林再生	渡辺 節郎
〃 サブ	湯川 圭造

あとながき 「古の都を環境の都に」

多くの市民や行政が参加して「長岡京市環境基本計画」が策定され、そのメンバーが中心となって2002年1月に「長岡京市環境の都づくり会議」が発足しました。今その「基本計画」の見直し作業の進む中、「都づくり会議」は10周年を迎えました。

「5年のあゆみ」は編集、印刷、製本までメンバーの手作りでした。「10年のあゆみ」は紙媒体の冊子と電子媒体の資料編に分けました。7回の編集会議では多様な意見が出て、やはりみんなで作り上げた感を持ちました。

冊子をご覧いただき、環境問題や「環境の都づくり会議」に関心を持たれましたら、是非、一緒に活動しましょう。

編集担当者 西村日出男



— Super Car Inspection —

車検のコバック

HPからもご予約できます!

コバック 171長岡京店

171長岡京店 ヤサカ石油株式会社

車検証を見ながらお電話下さい。 さーいーな コバック

0120-317-589

TEL 075-951-0003 FAX 075-951-0589

● 営業時間 AM8:00~PM7:00



長岡京市神足麦生12

長岡京市環境の都づくりの記録



2012年(平成24年)3月20日発行
発行者:長岡京市環境の都づくり会議
責任者:代表 江川 宗治
事務局:長岡京市開田1丁目1番1号
長岡京市環境政策推進課内
印刷:株式会社タカミ